

令和4年度及び令和5年度 本会議の振り返りと事業の進捗について

1 振り返り（会議概要）

開催日	内容
令和4年度	
8月25日	令和4年度に取り組むテーマの方向性を位置付けるため、会議の設置条例に基づいた各組織の役割を再確認し、コロナ禍における市の施策展開や企業を取り巻く課題を共有した上で何が必要かを議論した。
10月4日	長期的なテーマを「人材確保・人材育成」、単年度のテーマを「販路拡大」とした。 ※「人材確保・育成」に関する取組について、令和4年度から令和5年度の2年度に亘り議論し、事業の開始を令和6年度とした。
10月31日	【人材確保・育成】 事業の目指す姿とスケジュールを決定し、施策検討の参考とするため、会議委員所属団体において実施する就労支援や課題について共有した。 【販路拡大】 新たな補助金制度の素案に基づき実施内容を議論した。
2月13日	【人材確保・育成】 確保については、企業が抱える課題やそれに対する解決策を、育成については、他自治体や団体の事業を共有し、施策検討につなげる議論をした。 【販路拡大】 販路拡大については、前回からの改善点を主として、次年度からの開始に向けて事業内容を精査した。
令和5年度	
※令和5年度は、人材確保・育成についてのみ議論した。	
8月7日	会議の設置条例に基づく各組織の役割及び「人材確保・育成」で事業者が抱える課題と解決事例、他団体の実施事業を前年度資料に基づき再度共有した。
10月27日	「人材確保・育成」のテーマで、令和6年度から実施すべきと考える事業を委員から事前に聴取し、その結果を共有することで実施施策の方向性を整理した。
1月12日	これまでの議論を踏まえて事務局から提示した事業の具体案に基づき、実施施策を検討した。
2月29日	高校生の就職実態調査及び親子の会社見学を令和6年度の実施事業として決定した。

2 令和6年度実施事業の進捗状況について

(1) 高校生の就職実態調査

- ・島田商工会議所青年部が市内5高校生徒1年生から3年生までを対象にアンケートを実施する。(回答受付期間：9月17日～9月25日)
- ・「これからも地元に住み続けたいか」「学校卒業後、地元で働きたいか」を問う設問を盛り込むことを依頼した。
- ・次年度以降、踏み込んだ設問による調査を実施したい。(高校側から、複数のアンケート実施依頼について消極的な意見が聞かれるため)

(2) 親子の会社見学

- ・以下内容により企画案を作成、今後関係者と調整していく

中学生・高校生を持つ保護者の会社見学会

(仮称)「魅力のある会社を発見！ 大人の社会科見学バスツアー」の開催について(案)

1. 実施目的

オヤカクとは「親に確認」を略した言葉である。

事業者側が内定を出す大学生・高校生の親に連絡して「内定を承諾しているか」を確認することや「親から入社を承諾してもらっているか」を確認する行為を指している。

特に高校生の就職活動では、その決定プロセスに保護者の意向が強く反映する傾向が高いと言われている。これからの社会人生活のパートナーとなる事業者やその職場について理解を深めてもらうことを目的に、中学生・高校生の保護者をターゲットに会社見学会を開催する。

併せて、優れた技術・サービスを持ち、地域活性化のため若手人材の確保に積極的な市内優良企業をPRしていく。

2. 事業者への参加働きかけ先(案)

- ・ナカダ産業(株) ・(株)キムラ加工 ・(株)関本管工 (人を大切にする経営大賞関係)
- ・(株)テクノサイト ・サンエムパッケージ(株) ・(株)ジャパンスリーブ
- ・島田テクノロジー(株) ・(株)サカイ産業 ・(株)グロージオ ・大鐘測量設計(株) など

※太字…高校生採用募集を行っている団体

3. 会社見学会の開催時期・内容ほか

- ・特に高校生の就活スケジュールが当該年の6月1日からはじまることから、保護者対象のイベントとして、それ以前の年明け1月・2月に実施したい。
- ・公用バスにより市内事業者3～4か所をめぐる(1事業者 1h程度)
- ・事業者ごとに人事担当者・現場担当者から自社をPR
- ・行程を4～5時間程度に設定
- ・参加事業者数に応じて、2回(2週)に分けて開催